

令和8年6月30日

独立行政法人水資源機構

筑後川上流総合管理所

寺内ダム防災操作による河川水位低減効果

独立行政法人水資源機構が管理する寺内ダムでは、6月22日からの降雨により増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この防災操作により、寺内ダムの下流約8.5kmにある金丸橋地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.45m低減出来ました。

今回の防災操作は、

筑後川水系佐田川の寺内ダム流域では、6月22日13時から26日の23時にかけて総雨量452.7mmの降雨を記録しました。

この降雨により寺内ダムでは、最大流入量毎秒約184立方メートルの時に、約45%に相当する毎秒約83立方メートルの水をダムに貯留し、合計で約409万立方メートルを一時的に貯留することで、河川水位の上昇を抑えました。

※今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

令和8年6月30日

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所

配布先：国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、西日本新聞朝倉支局、読売新聞筑紫支局、毎日新聞福岡本部社会部、朝日新聞福岡本部社会部

お問い合わせ先：筑後川上流総合管理所

管理課長 村田

住所：福岡県朝倉市江川1660-67

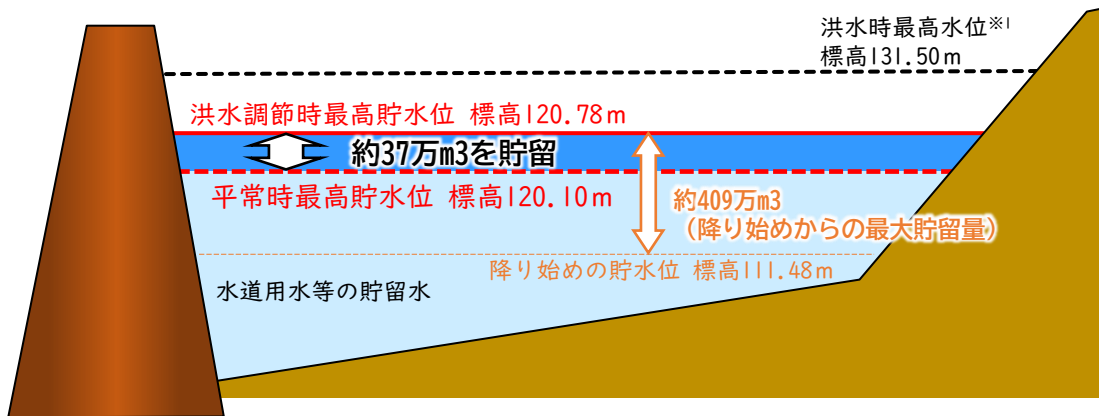
電話：0946-25-0113

寺内ダムの洪水調節による治水効果（筑後川水系）

令和8年6月

- 6月22日13時から降り始めた雨により、寺内ダム上流域では最大時間雨量34.1mm(25日21時～22時)、総雨量は452.7mm(26日23時まで)を観測しました。
- この雨により、寺内ダムでは、最大流入量毎秒約184立方メートルを観測し、最大流入量時において約45%に相当する毎秒約83立方メートルの水をダムに貯留する洪水調節を行い、下流河川の水位上昇を抑えました。
- これにより、ダム下流の金丸橋地点において**約0.45メートルの水位を低減する効果を発揮**することができたと推定されます。
- なお、濁水により貯水位が低下していたため、雨の降り始めから約409万立方メートルの流水をダムに貯留しました。

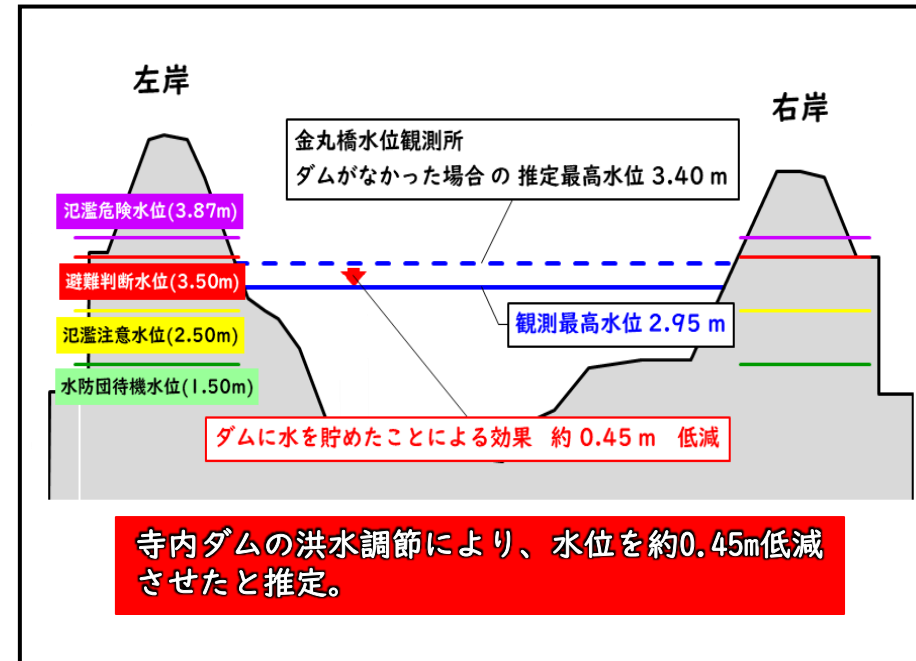
26日の洪水調節による貯留状況



※1 洪水時最高水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位



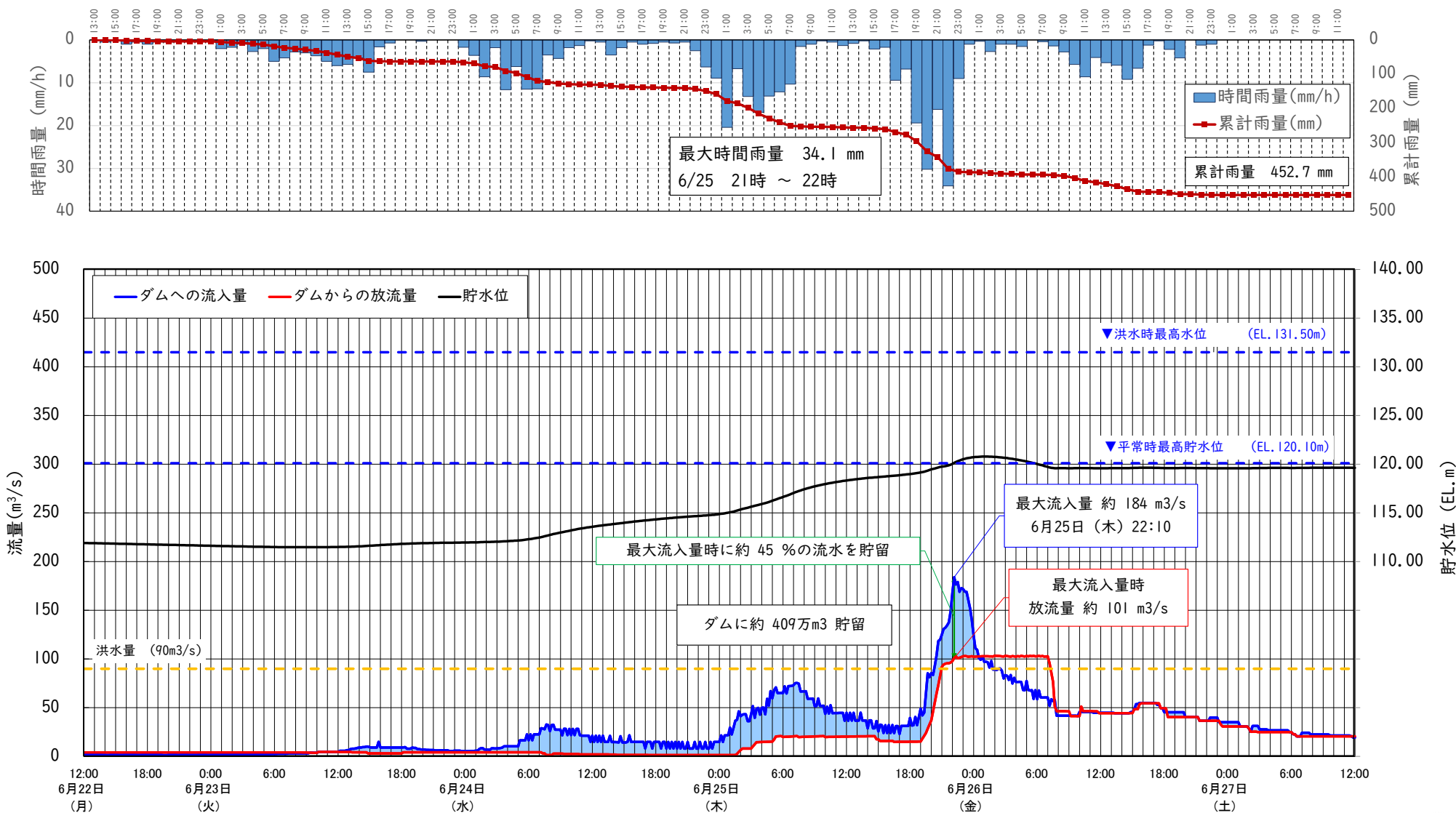
水位低減効果（金丸橋地点）



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査により数値等が変わることがあります。

【参考】寺内ダムの防災操作

●寺内ダムによる洪水調節 (R8.6.22~26 大雨による出水)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査により数値等が変わることがあります。

【参考】寺内ダムの概要



【寺内ダム管理所】
福岡県朝倉市荷原1516-6

完成年	1978年（昭和53年）
河川名	筑後川水系佐田川
型式	ロックフィルダム
堤高	83.0m
堤頂長	420.0m
堤体積	3,000,000m ³
ダム湖名	美奈宜湖
湛水面積	0.9km ²
集水面積	51.0km ²
総貯水量	18,000,000m ³

●洪水調節

ダム地点における計画高水流量300m³/sのうち180m³/sをダムに貯留し、筑後川上流ダム群の洪水調節と合わせて下流の高水流量を低減させ、洪水被害を軽減します。

●流水の正常な機能の維持

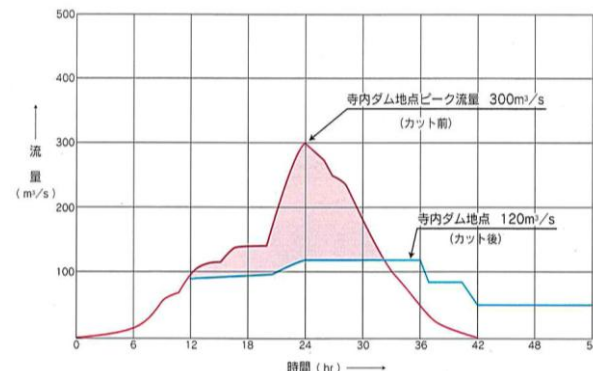
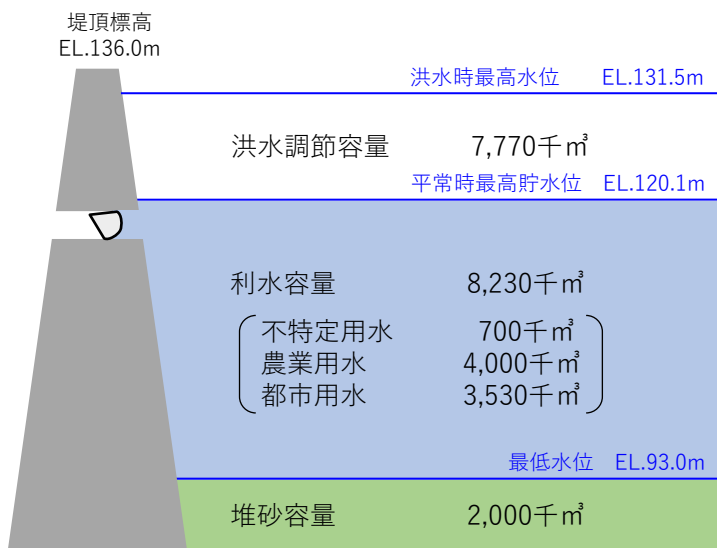
筑後川下流の既得用水の補給など流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

●農業用水の補給

江川ダムとあいまって、小石原川、佐田川沿いの2市2町（朝倉市、小郡市、筑前町、大刀洗町）約4,500haの水田及び畑地に農業用水を補給します（最大11.795m³/s）。

●水道用水の供給

江川ダムとあいまって、瀬ノ下地点において、福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団、佐賀東部水道企業団及び鳥栖市の水道用水として最大3.335m³/sの取水が可能となるよう用水を供給します。



【洪水調節図】

貯水位等の最新情報は
こちらから→
『川の防災情報』へのリンク

